

令和4年度

観光文化スポーツ部運営プログラム

令和4年8月
観光文化スポーツ部

令和4年度 観光文化スポーツ部施策体系

I 第4次山形県総合発展計画の推進

【 】：第4次山形県総合発展計画実施計画の施策番号

1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保【1】

- (1) 生涯を通じた多様な学びの機会の充実【1-2】
 - ① 県民や地域に活力をもたらす多様な学びの促進

2 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化【3】

- (2) 国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化【3-3】
 - ② 観光地域づくりの推進
 - ③ 戦略的な誘客促進
 - ④ 地域の特性や魅力を活かした多様な交流の促進

3 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用【5】

- (3) 国内外の活力を呼び込む多様で重層的な交通ネットワークの形成【5-2】
 - ⑤ 国際ネットワークの形成促進
 - ⑥ 国内広域交通ネットワークの充実強化
- (4) 地域の豊かな自然と地球の環境を守る持続可能な地域づくり【5-3】
 - ⑦ 自然環境や文化資産の保全・活用・継承
- (5) 地域の特性を活かし暮らしを支える活力ある圏域の形成【5-4】
 - ⑧ 県を越えた交流連携の推進

令和4年度 観光文化スポーツ部 主要事業

I 第4次山形県総合発展計画の推進

1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保【1】

(1) 生涯を通じた多様な学びの機会の充実【1-2】



施策の推進方向と主な取組み

① 県民や地域に活力をもたらす多様な学びの促進

K P I	県立文化施設等の来館者数					
	基準値（平成29年度）： 870,200人					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	—	—	100万人	100万人	100万人
実績値	58.3万人	926,826人				

【令和4年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<文化芸術・スポーツ等に触れる機会の充実>

（課題）

- ・ 令和3年度の文化施設等への来館者数は、一部の施設では新型コロナ前の水準まで持ち直したものの、多くの施設は感染拡大の影響を受け、見込みより大きく減少
- ・ コロナ禍により子ども達が文化行事に親しむ機会が減少している。幼少期から文化に親しむことは豊かな心を育むために大切であることから、地域や学校等との連携によりさらに文化に親しむ機会の充実を図ることが必要
- ・ 県立博物館においては、生涯学習の拠点施設として幅広い年代層に対応した学びと交流の機会の拡大を図るとともに、地域課題の解決や地域学習活動への支援が必要
- ・ 長引く新型コロナウイルスの影響により、ホームゲームの中止や延期が発生。県民のプロスポーツへの興味や関心が薄れている他、プロスポーツ団体の入場料収入が減少

（対応）

- ・ 県民の文化に親しむ機会の充実
 - ⇒ 文化施設等の魅力ある企画や広報の実施
 - ⇒ 文化芸術団体との連携、支援による県民の文化に触れる機会の創出
 - ⇒ 山形県総合文化芸術館の利用者ニーズに合わせた旅行商品の造成促進
- ・ 幼少期から文化に親しむ機会の充実
 - ⇒ 地域の文化・伝統芸能継承のため、文化行事等への児童生徒の幼少期からの参加を図るとともに伝統芸能の担い手を育成
 - ⇒ 文化芸術団体等と連携し、親子で気軽に地域の文化、伝統芸能を体験・鑑賞できる「やまがた伝統文化フェスタ」の開催等により体験機会を創出
 - ⇒ 県立博物館における時機を捉えたテーマの設定や来館者ニーズを踏まえた魅力ある企画・展示及び「実物」の教材を持つ博物館の強みを活かした学校教育等との一層の連携
- ・ プロスポーツ団体への支援を通し、県民にプロスポーツに触れる機会を引き続き提供

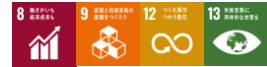
【令和4年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要	関連する SDGsの ゴール
プロスポーツ支援事業費	129,977 (163,962)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・県内を拠点とするプロスポーツチームへの支援、プロスポーツチームを活用した地域活性化への支援	4
山形県文化芸術交流発信事業費	32,135 (30,135)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・県と文化団体との共同による地域のホール等を活用したオペラや演劇などの文化芸術鑑賞機会の提供	4
文化による地域への愛着・誇り醸成事業費	5,520 (6,399)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・子ども達の伝統芸能や文化芸術活動の発表の場と地域で守り継がれてきた民俗芸能や伝統文化体験機会の創出	4
文化団体等連携支援事業費	98,758 (102,621)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・県内の主要な美術館・博物館が実施する企画展及び山形交響楽団の活動への支援	4
博物館活動整備事業費	5,547 (6,502)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・「縄文の女神」国宝指定10周年を記念する企画展や県立博物館の移転整備に向けた検討の実施	4
計	271,937 (309,619)			

2 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化【3】

(2) 国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化【3-3】



目標指標	観光消費額	
	基準値（平成30年度）：	2,177億円
	直近値（令和2年度）：	1,349億円
	目標値（令和6年度）：	2,600億円

施策の推進方向と主な取組み

② 観光地域づくりの推進

K P I	観光者数					
	基準値（平成30年度）： 46,507千人					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	—	—	—※	49,400千人	50,000千人
	実績値	27,511千人 (直近値)	—			
	平均宿泊数					
	基準値（平成30年）： 1.32泊（全国平均： 1.33泊）					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	—	—	—※	全国平均以上	全国平均以上
	実績値	1.32泊 (全国1.33泊)	1.42泊 (全国1.33泊)			

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う観光イベントの中止や県域を越える移動の自粛・制限など、今年度の動向について見通すことが困難であるため。

【令和4年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<質の高いツーリズムの推進>

（課題）

- ・ 新型コロナウイルスの影響により、教育旅行は感染者の多い地域を避け、近県や感染状況が比較的落ち着いている地域へ旅行先を変更している状況があることから、これまで本県への教育旅行のあまり実績がなかった地域を含めた誘致拡大の取り組みが必要
- ・ 新型コロナウイルスの影響により、旅行者が減少するなど厳しい状況が続いている県内観光業の復活に向けて、「新たな視点」を含む「山形でしかできない」、「山形ならではの」魅力・テーマをストーリーで結ぶツーリズムの発信・展開が必要
- ・ 新型コロナウイルスの影響により危機的状況にある県内観光産業回復のためには、地域経済への波及効果が高い宿泊割引キャンペーン等の継続的な実施、ポストコロナを見据えたコンテンツ開発や施設改修等への経費支援が必要

（対応）

- ・ 教育旅行の誘致拡大
⇒ 探究型学習やSDGs（持続可能な開発目標）に対応した教育旅行メニューを掲載した教育旅行パンフレットを活用し、コロナ前までは本県での教育旅行の実績があまりなかった地

- 域も含め、旅行会社、教育機関へのセールス活動や招請事業を実施
- ・ 山形ならではの魅力的な観光資源を活用した各種ツーリズムを展開
 - ⇒ 「やまがた出羽百観音」等の精神文化、美食・美酒などをテーマに発信・展開し、県内周遊・消費拡大を推進
 - ⇒ 観光カリスマ等のアドバイザーを招聘し、実践を通じた将来の本県観光を支える人材の育成及びSDGs等の「新たな視点」に基づいたコンテンツ造成、販売等による誘客に向けた取り組みの展開
 - ⇒ 南東北重点販売（以下、「南東北重販」という。）等の旅行関連企業（JRグループ、NEXCO等）と連携した観光誘客
- ・ 宿泊割引キャンペーンの実施
 - ⇒ 観光需要回復に向け、県内の宿泊・日帰り旅行に対する割引及び県内の観光立寄施設等で利用できるクーポンの配布を行う「やまがた冬割キャンペーン」を「やまがた春旅キャンペーン」に名称変更し、対象者を県民及び隣接県・地域ブロック道県在住者まで拡大して実施。6月からは「やまがた夏旅キャンペーン」に名称を変更
 - ⇒ 今後、感染状況の改善が確認できれば、全国を対象とした観光需要喚起策（全国旅行支援）を実施
 - ⇒ ポストコロナを見据え、新たな需要となり得るマイクロツーリズム、ワーケーション、ユニバーサルツーリズム等のコンテンツ開発、インバウンドへの対応、施設改修及び新型コロナウイルス感染症の感染防止対策にかかる経費の支援を実施

<四季のリゾート“世界の蔵王”としての確立>

（課題）

- ・ コロナ禍において減少した蔵王地域への観光流動を早期に回復していくため、蔵王地域の魅力向上や情報発信など、「世界の蔵王」プロジェクト事業を推進することが必要

（対応）

- ・ 蔵王地域における魅力づくりの推進
 - ⇒ 四季を捉えた観光コンテンツや、ユニバーサル・ツーリズムなど高齢者や障がい者など誰もが楽しめる観光コンテンツの創出
- ・ 蔵王地域の情報発信の強化
 - ⇒ 総合情報サイトの充実やSNS等を活用した定期的な情報発信など蔵王の知名度向上・誘客促進を狙った情報発信

<観光地域としての受入環境の整備>

（課題）

- ・ 観光地までの二次交通の充実、観光地や宿泊施設等におけるバリアフリー化の更なる促進、災害時などに正確で迅速に必要な情報が届けられる仕組みの構築など、安全・安心・快適な環境の整備などに取り組んでいくことが必要

（対応）

- ⇒ 南東北重販開催にあたり、受入環境の向上を図るため、受入企画・誘客活動と合わせ、二次交通整備・おもてなしへの支援を実施
- ⇒ ポストコロナを見据え、新たな需要となり得るマイクロツーリズム、ワーケーション、ユニバーサルツーリズム等のコンテンツ開発、インバウンドへの対応、施設改修及び新型コロナウイルス感染症の感染防止対策にかかる経費の支援を実施（再掲）

<広域的な交通ネットワークの利便性向上と広域観光周遊ルートの形成>

（課題）

- ・ 海外との往来再開後を見据え、首都圏（羽田・成田空港）から本県への直接的な誘客推進が必要

（対応）

- ・ 羽田・成田空港から入国した旅行者をJR利用で直接誘客するため、官民連携による外国人専用鉄道パスを活用した本県観光の発信や本県の強みを活かした商品のプロモーション

を実施
<p><観光地域づくりの担い手の育成> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍における危機管理への対応やおもてなし力の向上・旅行商品の開発など、将来の本県観光を支える人材の育成がこれまで以上に求められている。 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「山形おもてなしドライバー検定」の実施や、オンラインも活用しながら、危機管理に関する講座を含めた「山形観光アカデミー」による研修を実施 ・ 観光カリスマ等のアドバイザーを招聘し、実践を通じた将来の本県観光を支える人材の育成及びSDGs等の「新たな視点」に基づいたコンテンツ造成、販売等による誘客に向けた取組みの展開(再掲)

【令和4年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要	関連する SDGsの ゴール
観光誘客緊急対策事業費(2月補正)	9,565,001 (4,305,711)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・「やまがた冬割キャンペーン」の実施等による観光需要の喚起 ※「やまがた冬割キャンペーン」は、4月から「やまがた春旅キャンペーン」に、6月から「やまがた夏旅キャンペーン」に名称を変更	8
ポストコロナに向けた観光復活推進事業費	41,491 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・観光カリスマ等のアドバイザーを招聘し、実践を通じた将来の本県観光を支える人材の育成及びSDGs等の「新たな視点」に基づいたコンテンツ造成、販売等による誘客に向けた取組みの展開	8
ポストコロナに向けた観光施設支援事業費(2月補正)	248,700 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・県内観光施設が行うポストコロナに向けた新たな取組み(Wi-Fi整備、キャッシュレス決済導入等)への支援	8
やまがた的グリーン・ツーリズム推進事業費	9,923 (9,880)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・グリーン・ツーリズム情報の発信、受入態勢の整備等	8
観光連携推進事業費	86,349 (83,759)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・(公社)山形県観光物産協会が実施する本県の観光振興を図るための事業に対する助成	8
観光キャンペーン推進事業費	29,160 (29,160)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ポスト東北DCと位置付けている南東北重点販売キャンペーン(令和4年4月~6月)など、官民一体となった誘客拡大を推進する「やまがた観光キャンペーン推進協議会」への負担金	8
教育旅行推進事業費	15,073 (15,073)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・旅行会社の招請、貸切バスへの助成、受入態勢の整備等による教育旅行の誘致活動の実施等	8
雪を活用した観光誘客支援事業費	19,566 (19,625)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・「やまがた音と光のファンタジア」の開催支援	8

地域広域観光推進事業費	12,732 (12,732)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・総合支庁における地域の広域観光協議会と連携した観光誘客や観光資源の磨き上げ	8
「世界の蔵王」プロジェクト推進事業費	11,234 (11,534)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・年間を通して国内外から多くの観光客で賑わう「四季のリゾート“世界の蔵王”」の確立に向けた「世界の蔵王」プロジェクト事業の展開	8
精神文化ツーリズム推進事業費	10,870 (10,870)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・本県の強みである「やまがた出羽百観音」等の精神文化のブランド化に向けた情報発信や精神文化を活用したコンテンツの磨き上げ等の取組みの展開	8
観光誘客総合推進事業費	39,763 (39,969)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・タクシードライバーを対象とした「山形おもてなしドライバー検定」の実施	8
計	10,089,862 (4,538,313)			

③戦略的な誘客促進

K P I	県観光情報ポータルサイトのアクセス件数					
	基準値（平成30年度）：229万件					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	240万件	280万件	310万件	330万件	350万件
	実績値	162万件	215万件			
	外国人旅行者受入数					
	基準値（平成30年度）：252,289人					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—	—	—※	520,000人	600,000人
	実績値	125,930人	17,463人 (速報値)			
	延べ外国人旅行者宿泊者数					
	基準値（平成30年）：163,460人泊					
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
指標値	—	—	—※	345,000人泊	400,000人泊	
実績値	87,440人泊	15,920人泊				

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止に係る入国制限が行われており、今年度の動向について見通すことが困難であるため。

【令和4年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

＜観光関連産業の回復・活性化＞

（課題）

- ・ 新型コロナの影響により大きく落ち込んだ本県観光果樹園入込者数をはじめ県内観光者数の回復には、さくらんぼのブランドイメージを活用した観光誘客の取組みが必要

- ・ 新型コロナウイルスの影響により危機的状況にある県内観光産業回復のためには、地域経済への波及効果が高い宿泊割引キャンペーン等の継続的な実施、ポストコロナを見据えたコンテンツ開発や施設改修等への経費支援が必要（再掲）
 - ・ 新型コロナウイルスの影響により、旅行者が減少するなど厳しい状況が続いている県内観光業の復活に向けて、「新たな視点」を含む「山形でしかできない」、「山形ならではの」の魅力・テーマをストーリーで結ぶツーリズムの発信・展開が必要（再掲）
- （対応）
- ・ さくらんぼを活用した誘客事業の実施、さくらんぼラッピングバス・トラック等の運行、さくらんぼ狩り等を含む首都圏からのイベント新幹線の運行、「さくらんぼ」の魅力を伝える映像の制作・発信、県内小学生等のさくらんぼ狩り体験支援の実施
 - ・ 宿泊割引キャンペーンの実施
 - ⇒ 観光需要回復に向け、県内の宿泊・日帰り旅行に対する割引及び県内の観光立寄施設等で利用できるクーポンの配布を行う「やまがた冬割キャンペーン」を「やまがた春旅キャンペーン」に名称を変更し、対象者を県民及び隣接県・地域ブロック道県在住者まで拡大して実施。6月からは「やまがた夏旅キャンペーン」に名称を変更（再掲）
 - ⇒ 今後、感染状況の改善が確認できれば、全国を対象とした観光需要喚起策（全国旅行支援）を実施（再掲）
 - ⇒ ポストコロナを見据え、新たな需要となり得るマイクロツーリズム、ワーケーション、ユニバーサルツーリズム等のコンテンツ開発、インバウンドへの対応、施設改修及び新型コロナウイルス感染症の感染防止対策にかかる経費の支援を実施（再掲）
 - ・ 山形ならではの魅力的な観光資源を活用した各種ツーリズムを展開
 - ⇒ 「やまがた出羽百観音」等の精神文化、美食・美酒などをテーマに発信・展開し、県内周遊・消費拡大を推進（再掲）
 - ⇒ 観光カリスマ等のアドバイザーを招聘し、実践を通じた将来の本県観光を支える人材の育成及びSDGs等の「新たな視点」に基づいたコンテンツ造成、販売等による誘客に向けた取組みの展開（再掲）
 - ⇒ 南東北重販等の旅行関連企業（JRグループ、NEXCO等）と連携した観光誘客（再掲）

<情報発信の強化>

（課題）

- ・ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」について、アクセス数を増やし本県観光の認知度を向上させることが必要
- ・ 新型コロナウイルスの影響により、本県を訪れる観光客が減少していることから、県内外の人に、本県の観光地やイベント等の魅力を知ってもらい、誘客を図ることが必要
- ・ コロナ禍においても訪問地として選ばれる県となるため、テレビ媒体を活用して、本県の魅力ある観光情報を発信し、首都圏等からの誘客を推進することが必要

（対応）

- ・ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」の充実及び利用者の拡大
 - ⇒ 特集記事等のコンテンツ追加及び新たな海外向けプロモーション動画制作による、サイトの充実、並びに、海外観光現地コーディネーターによる情報発信及び各種プロモーションを通じたサイトの利用者拡大
- ・ 山形県版ふるさと観光検定の実施
 - ⇒ 本県の観光地やイベント等について出題し、県内外の受検者に本県の観光について楽しみながら学んでもらう観光検定をWEB上で実施
- ・ 観光情報番組制作及び放映
 - ⇒ 首都圏からの観光誘客の拡大を図るため、観光情報番組を制作・放映し、本県の魅力ある観光情報を発信

<「観光デジタルマーケティング」の推進>

（課題）

- ・ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」のアクセスデータを分析し、コロナ禍でも

<p>ニーズの高いコンテンツを見極め施策展開に活用することが必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続的な観光デジタルマーケティングの推進を図るため、効果的な分析と業務の効率化が必要 (対応) ・ 観光デジタルマーケティングによる国内外から誘客推進 ⇒ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」や SNS のアクセスデータ等の分析・評価によるプロモーションの実施 <p><インバウンドの推進> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本県空港への国際チャーター便の復活に向け、現地コーディネーター等と連携した継続的な誘致活動が必要 ・ 海外との往来再開後を見据え、首都圏（羽田・成田空港）から本県への直接的な誘客推進が必要（再掲） ・ インバウンドの段階的な回復に向け、仙台国際空港や関係機関等から情報収集を行い、タイミングを逃さずに仙台国際空港から本県への誘客推進が必要 ・ 外航クルーズ船の運航再開に向けた国の動向を注視しつつ、継続的な誘致活動が必要 (対応) ・ ニーズを捉えた誘客推進 ⇒ 台湾等からの秋冬期における国際チャーター便の就航に向け、本県観光の魅力を発信し、チャーター便を運航する航空会社やツアーを催行する旅行会社への支援を実施 ⇒ 羽田・成田空港から入国した旅行者を J R 利用で直接誘客するため、官民連携による外国人専用鉄道パスを活用した本県観光の発信や本県の強みを活かした商品のプロモーションを実施（再掲） ⇒ 仙台国際空港や関係機関等から情報収集を行うとともに、隣接県や関係機関と連携し、仙台空港からの本県周遊プランの周知等による F I T（海外個人旅行）層の本県への誘客促進 ⇒ 外航クルーズ船の適時適切な誘致活動の展開や新型コロナウイルス感染症対策を考慮した受入態勢の準備 <p>※ 新型コロナウイルス感染症による出入国制限や、対象市場（国・地域）の状況を踏まえ、適時適切に事業を実施する。</p>
--

【令和4年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要	関連する SDGsの ゴール
さくらんぼを活用した誘客事業費	21,077 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・「さくらんぼ県山形」のブランドイメージを活用した観光誘客の推進（ラッピング列車等の運行、さくらんぼ狩り体験支援等）	8
山形県版ふるさと観光検定事業費	11,199 (-)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・本県観光の認知度向上と誘客促進のための「山形県版ふるさと観光検定」の実施	8
観光誘客緊急対策事業費（2月補正）（再掲）	9,565,001 (4,305,711)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・「やまがた冬割キャンペーン」の実施等による観光需要の喚起 ※「やまがた冬割キャンペーン」は、4月から「やまがた春旅キャンペーン」に、6月から「やまがた夏旅キャンペーン」に名称を変更	8
ポストコロナに向けた観光復活	41,491 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し	・観光カリスマ等のアドバイザーを招聘し、実践を通じた将来の本県観	8

推進事業費（再掲）		<input type="checkbox"/> 継続	光を支える人材の育成及びSDGs等の「新たな視点」に基づいたコンテンツ造成、販売等による誘客に向けた取組みの展開	
ポストコロナに向けた観光施設支援事業費（2月補正）（再掲）	248,700 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・ 県内観光施設が行うポストコロナに向けた新たな取組み（Wi-Fi整備、キャッシュレス決済導入等）への支援	8
観光デジタルマーケティング・プロモーション事業費	21,408 (31,874)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ デジタルマーケティングによる観光データの分析とその結果を活用したデジタルプロモーションの展開	8
観光誘客総合推進事業費（再掲）	39,763 (39,969)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ 多様な媒体を活用した情報発信による観光PR等	8
観光情報番組放映事業費	31,254 (-)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ 首都圏からの観光誘客の拡大を図る観光情報番組の制作及び放映	8
重点市場のポストコロナに向けた誘客推進事業費	15,754 (8,716)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・ 現地観光コーディネーターによる現地情報の収集や本県観光情報の発信等による重点市場（台湾、中国、香港、韓国、ASEAN）からの誘客推進	8
観光キャンペーン推進事業費（再掲）	29,160 (29,160)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ ポスト東北DCと位置付けている南東北重点販売キャンペーン（令和4年4月～6月）など、官民一体となった誘客拡大を推進する「やまがた観光キャンペーン推進協議会」への負担金	8
地域間交流・海外教育旅行推進事業費	2,380 (780)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ ポストコロナにおける海外での交流活動への支援及び海外教育旅行の誘致に向けたプロモーションの展開	8
外航クルーズ船誘客事業費	7,546 (1,246)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ ポストコロナを見据え、外航クルーズ船の寄港拡大に向けたプロモーションの展開や受入態勢の準備	8
広域連携推進事業費	20,660 (20,690)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ 東北観光推進機構等と連携したポストコロナに向けた海外誘客事業の実施	8
ウィズコロナ国際チャーター便受入事業費	147,000 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・ 台湾等からの秋冬季における国際チャーター便の就航を目指し、海外に対して本県観光の魅力を発信するとともに、チャーター便を運航する航空会社やチャーター便を利用したツアーを催行する旅行会社を支援	8
計	10,202,393 (4,438,146)			

④地域の特性や魅力を活かした多様な交流の促進

K P I	県内への文化・スポーツ合宿の新規誘致数					
	基準値（令和元年度）：3団体					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—	—	3団体	3団体	3団体
	実績値	1団体	0団体			

【令和4年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><文化芸術活動・スポーツを通じた交流の促進></p> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、文化・スポーツ合宿は中止、延期又は縮小されているものが多く、コロナ禍に対応した誘致が必要 ・ 県民が魅力を感じる公演や展示の充実、年齢、障がい、国籍等にかかわらず文化を鑑賞・参加・創造することができる環境の整備、地域の中での文化活動を行う場の充実が必要 ・ 文化イベントやスポーツツーリズム等を起点とした文化・スポーツを通じたさらなる交流拡大が必要 <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力的な公演・展示の充実 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 山形交響楽団の東京公演における本県の文化・物産のPR ⇒ 山形県総合文化芸術館や県内の特色ある文化施設等における企画充実 ⇒ 山形県総合文化芸術館の利用者ニーズに合わせた旅行商品の造成促進 ・ スポーツコミッションの推進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 県内文化・スポーツ施設や宿泊施設等を活用した新たな団体による合宿誘致及びスポーツイベント開催 ⇒ コロナ禍に対応した工夫を凝らした地域交流事業の実施 <p><海外との相互交流の促進></p> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京2020オリンピック・パラリンピックは開催されたが、長引く新型コロナウイルス感染症の影響によりホストタウンを契機とした相手国・地域との交流が依然として制限 <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック大会終了後の交流促進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 工夫を凝らした交流事例を紹介し、スポーツを通じた国際交流の拡大に向け支援

【令和4年度関連事務事業】

（単位：千円）

事業名	予算額 （前年度）	区分	事業概要	関連する SDGsの ゴール
文化団体等連携 支援事業費（再掲）	98,758 (102,621)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ 県内の主要な美術館・博物館が実施する企画展及び山形交響楽団の活動への支援	8
山形県文化芸術 交流発信事業費 （再掲）	32,135 (30,135)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ 県と文化団体との共同による地域のホール等を活用したオペラや演劇などの文化芸術鑑賞機会の提供	8
文化による地域 への愛着・誇り 醸成事業費（再掲）	5,520 (6,399)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ 子ども達の伝統芸能や文化芸術活動の発表の場と地域で守り継がれてきた民俗芸能や伝統文化体験機会の創出	8

文化財指定業務費	2,781 (719)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・文化財保護審議会の開催及び文化財調査の実施	8
文化財保護事業費	42,446 (51,179)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・国・県指定文化財の保存修理や維持管理に対する支援	8
「未来に伝える山形の宝」登録制度推進事業費	3,623 (8,335)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・有形・無形の様々な文化財を地域で守り活かす取組みの推進	8
文化財管理・防災推進事業費	4,059 (-)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・国・県指定文化財の管理・防災対策状況等の把握のためのパトロールの実施及び所有者向けの文化財管理・防災ハンドブックの作成	8
日本遺産魅力発信推進事業費	1,900 (1,900)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・日本遺産「出羽三山『生まれかわりの旅』」及び「山寺と紅花」の総合的な活用・情報発信	8
埋蔵文化財保護事業費	44,456 (22,198)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・農林公共事業に係る発掘調査及び埋蔵文化財の普及啓発の実施	8
山形県総合文化芸術館事業費	20,290 (23,476)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・山形県総合文化芸術館を活用した文化芸術活動の促進	8
県民会館管理運営費	271,551 (31,084)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・旧山形県県民会館解体工事の実施等	8
スポーツ振興・地域活性化推進事業費	17,526 (324,949)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・山形県スポーツコミッションを中心とした新たなスポーツイベント（3×3バスケットボールやモルック等）の開催や文化・スポーツ合宿等の県内への誘致促進	8
プロスポーツ支援事業費（再掲）	129,977 (163,962)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・県内を拠点とするプロスポーツチームへの支援、プロスポーツチームを活用した地域活性化への支援	8
計	675,022 (766,957)			

3 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用【5】

(3) 国内外の活力を呼び込む多様で重層的な交通ネットワークの形成【5-2】



施策の推進方向と主な取組み

⑤ 国際ネットワークの形成促進

K P I	外国人旅行者受入数（再掲）					
	基準値（平成30年度）：252,289人					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	—	—	—※	520,000人	600,000人
実績値	125,930人	17,463人 (速報値)				

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止に係る入国制限が行われており、今年度の動向について見通すことが困難であるため。

【令和4年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<三大都市圏や近隣県の国際空港との連携>

（課題）

- ・ 海外との往来再開後を見据え、首都圏（羽田・成田空港）からの本県への直接的な誘客推進が必要（再掲）
- ・ インバウンドの段階的な回復に向け、仙台国際空港や関係機関等から情報収集を行い、タイミングを逃さずに仙台国際空港から本県への誘客推進が必要（再掲）

（対応）

- ・ ニーズを捉えた誘客推進
 - ⇒ 羽田・成田空港から入国した旅行者をJR利用で直接誘客するため、官民連携による外国人専用鉄道パスを活用した本県観光の発信や本県の強みを活かした商品のプロモーションを実施（再掲）
 - ⇒ 仙台国際空港や関係機関等から情報収集を行うとともに、隣接県や関係機関と連携し、仙台空港からの本県周遊プランの周知等によるF I T層の本県への誘客促進（再掲）

<広域的な移動を支える二次交通の充実>

（課題）

- ・ 観光地までの二次交通の充実、観光地や宿泊施設等におけるバリアフリー化の更なる促進、災害時などに正確で迅速に必要な情報が届けられる仕組みの構築など、安全・安心・快適な環境の整備などに取り組んでいくことが必要（再掲）

（対応）

- ・ 南東北重販開催にあたり、受入環境の向上を図るため、受入企画・誘客活動と合わせ、二次交通整備・おもてなしへの支援を実施（再掲）

<酒田港の機能強化>

（課題）

- ・ 外航クルーズ船の運航再開に向けた国の動向を注視しつつ、継続的な誘致活動が必要（再掲）

（対応）

- ・ 外航クルーズ船の適時適切な誘致活動の展開や新型コロナウイルス感染症対策を考慮した受入態勢の準備（再掲）

【令和4年度関連事務事業】

(単位:千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要	関連する SDGsの ゴール
観光キャンペーン推進事業費 (再掲)	29,160 (29,160)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ポスト東北DCと位置付けている南東北重点販売キャンペーン(令和4年4月～6月)など、官民一体となった誘客拡大を推進する「やまがた観光キャンペーン推進協議会」への負担金	11
外航クルーズ船誘客事業費(再掲)	7,546 (1,246)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ポストコロナを見据え、外航クルーズ船の寄港拡大に向けたプロモーションの展開や受入態勢の準備	11
計	36,706 (30,406)			

⑥国内広域交通ネットワークの充実強化

【令和4年度における課題と対応(前年度からの見直し・新たな取組みの内容)】

<広域的な移動を支える二次交通の充実>

(課題)

- ・観光地までの二次交通の充実、観光地や宿泊施設等におけるバリアフリー化の更なる促進、災害時などに正確で迅速に必要な情報が届けられる仕組みの構築など、安全・安心・快適な環境の整備などに取り組んでいくことが必要(再掲)

(対応)

- ・南東北重販開催にあたり、受入環境の向上を図るため、受入企画・誘客活動と合わせ、二次交通整備・おもてなしへの支援を実施(再掲)

【令和4年度関連事務事業】

(単位:千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要	関連する SDGsの ゴール
観光キャンペーン推進事業費 (再掲)	29,160 (29,160)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ポスト東北DCと位置付けている南東北重点販売キャンペーン(令和4年4月～6月)など、官民一体となった誘客拡大を推進する「やまがた観光キャンペーン推進協議会」への負担金	11
計	29,160 (29,160)			

(4)地域の豊かな自然と地球の環境を守る持続可能な地域づくり【5-3】



施策の推進方向と主な取組み

⑦自然環境や文化資産の保全・活用・継承

K P I	地域の伝統・文化行事等に参加している児童生徒の割合					
	基準値（令和元年度）：小6：85.7%、中3：65.9%					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—	—	小6：90% 中3：70%	小6：90% 中3：70%	小6：90% 中3：70%
実績値	—	小6：77.0% 中3：59.8%				

【令和4年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p><文化資産の活用・継承> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過疎化・少子高齢化などを背景に、地域の担い手の減少や文化財の滅失、散逸等の防止が緊急の課題であるとともに、文化財の活用による地方創生や地域活性化など文化財に求められる役割への期待が増大 ・ 過疎化・少子高齢化の影響により、大人も子どもも身近な地域の伝統文化に関わる機会が減少し、これまで継承されてきた地域の伝統文化や民俗芸能の活動継続が困難化している中、新型コロナの影響により、地域の伝統文化を体験する機会が著しく減少 ・ 広く県民に対し、埋蔵文化財の普及啓発の実施が必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財の活用による地方創生・地域活性化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 県の具体的な文化財の保存・活用の基本的な方向性を明確化し、県内において各種の取組みを進めていく上で共通の基盤となる「山形県文化財保存活用大綱」(R4.3策定)に基づく、文化財を確実に次世代へ継承するための保存と活用の好循環につながる取組みの実施 ・ 伝統文化・民俗芸能の継承 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 「未来に伝える山形の宝」への登録促進や登録団体への支援を通じた地域で守り伝えられている「山形の宝」の未来への継承 ⇒ 新型コロナに伴う公演の中止等、無形民俗文化財に係る発表状況の把握と対応方法等に関する関係団体への情報提供の実施及び発表の場の創出 ⇒ 県内各地に継承されている民俗芸能の魅力発信及び団体同士のゆるやかなネットワーク構築への支援 ・ 日本遺産の活用 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 関係機関と連携した、観光振興、人材育成、普及啓発等に関する事業の実施を通じた文化財の次代への継承に向けた取組みの推進や日本遺産を活用したストーリー体験の充実を図る取組みの推進
--

【令和4年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要	関連するSDGsのゴール
「未来に伝える山形の宝」登録制度推進事業費	3,623 (8,335)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・有形・無形の様々な文化財を地域で守り活かす取組みの推進	8

(再掲)				
日本遺産魅力発信推進事業費(再掲)	1,900 (1,900)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・日本遺産「出羽三山『生まれかわりの旅』」及び「山寺と紅花」の総合的な活用・情報発信	8
文化財保護事業費(再掲)	42,446 (51,179)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・国・県指定文化財の保存修理や維持管理に対する支援	8
埋蔵文化財保護事業費(再掲)	44,456 (22,198)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・農林公共事業に係る発掘調査及び埋蔵文化財の普及啓発の実施	8
計	92,425 (83,612)			

(5) 地域の特性を活かし暮らしを支える活力ある圏域の形成【5-4】



施策の推進方向と主な取組み

⑧県を越えた交流連携の推進

【令和4年度における課題と対応(前年度からの見直し・新たな取組みの内容)】

<p><多様な分野における近隣県等との交流連携の推進></p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドの段階的な回復に向け、仙台国際空港や関係機関等から情報収集を行い、タイミングを逃さずに仙台国際空港から本県への誘客推進が必要(再掲) <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台国際空港や関係機関等から情報収集を行うとともに、隣接県や関係機関と連携し、仙台空港からの本県周遊プランの周知等によるF I T層の本県への誘客促進(再掲) <p><目的指向型の国際交流・連携の推進></p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出入国の再開を見据えて、感染対策に配慮しながら国際交流・連携の推進を図ることが必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況も注視しながら、文化・スポーツ合宿を行う団体を支援

【令和4年度関連事務事業】

(単位:千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要	関連するSDGsのゴール
重点市場のポストコロナに向けた誘客推進事業費(再掲)	15,754 (8,716)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・現地観光コーディネーターによる現地情報の収集や本県観光情報の発信等による重点市場(台湾、中国、香港、韓国、ASEAN)からの誘客推進	11
スポーツ振興・地域活性化推進事業費(再掲)	17,526 (324,949)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・山形県スポーツコミッションを中心とした新たなスポーツイベント(3×3バスケットボールやモルック等)の開催や文化・スポーツ合宿等の県内への誘致促進	11
計	33,280 (333,665)			